向で従来の補助要件の大 半を撤廃する。原則全国

> またぐ場合のみ国の補助 多重化については河川を

が多かった。

これまで上下水道管の

た財政状況などから大都

補助対象としていた。ま

市は対象外となるケース

対象となっており、老朽

の半分を国が補助する方 重化・更新に関する費用

への影響が大きい主要上 ト水道管の多重化・更新

国土交通省は社会生活

一後押しする。下水道管多

交国 通 省土

来年度から補助制度始動

水道管の多重化を促進

(1)

見通しだ (2面に関連記 が補助事業の対象となる すべての主要上下水道管

の1、耐震化は3分の

下水道改築は半分を

災害時に緊急車両が通行

(AB-Cross)

いる。

管路の更新は費用の4分

込む新たな補助制度は下

来年度概算要求に盛り

する新たな補助制度を始 管路の複線化などを支援 を促進する。来年度から

2次提言を踏まえ、

発 行 所 (株)日本設備工業新聞社

東京都渋谷区桜丘町10-13 〒150-0031 野元第1ピル 電 話 (03) 3496-4774代 FAX (03) 3464-1884

info@setubikougyo.co.jp 年極8,800円(税·送料込)

TOTO

システムキッチン ザ・クラッソ

どで構成。国交省の「下

方公共団体、関係団体な 同検討会は学識者や地

直しを行う。

技術的助言を統

的に実施

な道路陥没事故を踏まえ 水道等に起因する大規模

た対策検討委員会」の第

吉澤課長





国交省検討会が初会合で意見交換

員長が「過去に 今後の新たなマーントに関する技術的助言 例のない重大事

続いて森田委

水を貯める調整池の整備 を対象に費用の3分の1 強化する。管路の複線化 業を拡充しながら対策を を補助。既存の交付金事 る。水道菅は同85%以上 難しい場所を対象とす 水位が高く修繕・工事が 幹線道路の下に敷設され する緊急輸送道路や重要 ている管路のうち通常の 無人化・省力化、新たな 道一体革新的技術実証事 ス技術の高度化・実用化 更生工法などメンテナン 強度・漏水調査、 査や大口径管路の管厚・ 並行して大深度の空洞調 ほか、片方を止めて修繕 化で片方が損傷しても上 することも可能だ。 ト水道機能を維持できる 管路の多重化・更新と

## r 水道管路

準じて統一的に実施する具体的な考え方や手法、事例などを例示・解説する。 引き上げる。また法令の規定のほかに下水道管路マネジメントに関する技術的助言として法令に マネジメントのための技術基準等検討会」(委員長・森田弘昭日本大学生産工学部教授)を開催 した。国と下水道協会が定める基準などを包括的な見直し、重要な項目を国の技術的基準などに 国土交通省は8月21日、東京・千代田区の公益社団法人日本下水道協会で第1回「下水道管路

管理・構造基準などの見 | 生し、対策検討委員会が | ただく。皆さまのご協力 た。当検討会では基準の 見直しなどを議論して 第2次提言をとりまとめ 全確保の手法-見直し④可視化を見据え 査基準の見直し②診断基 に情報管理のあり方⑤安

悟を持って進め トへの転換を覚 管路マネジメン を大前提とした 意欲を示した。 ていきたい」と により安全確保 どを検討していく。 関する新技術の活用、構 対応、センシングなどに ち入りが困難な管路への 化)、維持管理の簡便 造別に設定した判定基 調査を行う場所、 なっている。具体的には 診断結果の可視化な 診断の質向上、 人の立 管路

にに下水道管路マネジメ 今後の方向性として新 見できる新技術の開発」 必要」「異常を適切に発 る「リスクの多寡による できる手法の導入」「光 点検・調査のメリハリが 設備の残存耐力を把握 これに伴い各委員によ

一理を行う方針だ。 開き、年末までに中間整 などの意見交換が繰り広 センシング技術が有効」 ファイバーなどを使った 同検討会は年内に2回

ている。どのように対応 ネジメントのあり方を突 議事では同検討会の設 を法令に則して点検・調 を国の技術基準に格上げ ガイドラインや下水道協 ネジメント実施に関する づける。国のストックマ 査を行う際の指標と位置 会が定めた維持管理基準

や技術基準の現状などを 置趣旨や経緯について説 検討項目は①点検・調 また当面の検討事項 維持管理基準は業務の支 する考えだ。 現行のガイドラインや

などと とも含めて議論を加速す もに、法令に明記するこ 準として明確化するとと 体の判断に委ねられてい **援的位置づけとなってお** 今後は全国統一の基 実施主体である自治

期間

## ではメンテナビリティの 管の破損も多発してお と見込まれている。水道 故の全面復旧は最長7年 玉県八潮市の道路陥没事 向上、リダンダンシー 大阪で設置60年を超える がる技術開発をテーマに (多重化)の確保につな 今年1月に発生した埼 今年に入って京都や 4月21日 > 9月20日



いずみ会 合同研修会 10月28日(火)~ 11月1日(土)

●会場

グランドニッコー東京 台場 (東京都港区台場)

人・街・未来へ

⋒」」に 泉グループ





たきざわ しゅういち 講師 滝沢 秀一氏 マシンガンズ (太田プロダクション)

〒167-0051 東京都杉並区荻窪 4-30-16 藤澤ビルディング 2F TEL.03-3393-2511 代 (株/小泉/(株/小泉東北/(株/小泉中央/(株/小泉多摩/(株/小泉東関東/(株/小泉北関東/(株/小泉中部/(株/小泉神奈川 (株/小泉相模/(株/小泉東海/綜合電材(株/)株住建/城北厨房(株)

